

教職員委員会 NEWS

No.23

➤ おかげさまで開店9周年！

本日（12月2日）、生協店舗は9歳になりました。9年前のこの日、開店セレモニーが予定されていましたが、突然の大雪で交通がマヒしたため、テープカットをお願いしていた当時の学長・島津先生も、学友会長も出席できず、学生部長だった故飯田規和先生が急遽代役を務められ、同じく代役の学生委員会副委員長と手を取り合っただけでカットされたのも、なつかしい思い出です。開店の様子は、新聞やテレビにも取り上げられましたが、セレモニーに間に合わなかった学友会長が泣き出してしまったのを、テレビカメラが「開店を泣いて喜んでいる」と誤解して報道した、という一幕もありました・・・。

狭いながらも、多くの学生・教職員組合員に支えられ、愛されている店舗。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

そして来年には、生協設立10周年を迎えます。記念行事を計画中ですので、どうぞ楽しみに。

➤ 今年は赤字は大丈夫ですか・・・？

11月理事会で報告された経営概況によれば、10月末の時点で、ほぼ予算どおりの剰余を確保しており、このまま順調に推移すれば、今年度は黒字決算ができる見込みとのこと。

昨年度は、教職員委員会 NEWS 等を通じて、赤字の懸念をお知らせし、支援のお願いをいたしました。最終的には危機を脱することができました。教職員のみなさまからの利用結集が大きなたったとのこと。ほんとうにありがとうございました。

今年も、危機的ではないものの、非常に楽観できる、というわけでもないそうですので、引き続きご利用をよろしくお願いいたします。現在、先生方からの教科書指定、コンピューター関連機器、ソフトウェア、CDなどが好調だとのこと。研究室やご自宅のパソコンから本を検索して注文できる「大学生協インターネットサービス」も好評です。今年になって、注文してから生協店舗に入荷するまでの時間が大幅に短縮され、いっそう便利になりました。まだ登録されていない方は、ぜひ一度お試しください。

➤ 「どこでもドアのかぎ」も10号に！

県短生協と共に歩んできた「どこでもドアのかぎ」が、ついに10冊目となります。本を推薦して下さった先生方、印刷製本作業にお集まりくださったみなさま、配布にご協力いただいたみなさま、ほんとうにありがとうございます。

まもなく第10号の編集作業をはじめます。今年も多数のご推薦をお待ちしています。近日中に、お願い文書を棚入れさせていただきますので、よろしく願いいたします。

きき耳ずぎんのコーナー

若桑みどり先生の講演会

水上 則子

11月12日、敬和学園大学で開かれた、創立15周年記念講演会「あなたは戦争を知っているか」を聴講してきました。若桑先生といえば、泣く子も黙る(?)美術史の大家で、イタリヤを中心に研究され、多くの労作があることで有名ですが、しばらく前から「戦争とジェンダー」というテーマにも取り組んでおられるということでした。その際にも、映画や絵画、新聞雑誌の写真や挿絵といった「イメージ」を素材にして、美術史家の視点を生かしたユニークな研究をされているということ、今回はじめて知りました。

当日会場に着いたら、240名という階段教室が、ほぼ満員の状態で、少し驚きながらも席をみつけました。学生らしき人の姿はとて少なく、50代から60代の方が中心であるようにお見受けしました。強い冷たい風が吹く日でしたが、会場は熱気にあふれ、窓を開けなければ暑苦しいほどでした。

講演では、先生の、滑らかで熱のこもった語りに加えて、15年戦争当時の「雰囲気」を雄弁に物語る、貴重な映像資料・画像資料が豊富に紹介され、目と耳を奪われたまま、あっという間に時間が過ぎていきました。予定時間を大幅に上回ったようでしたが、それでもまだ語り足りない、聴き足りないという感じが、どちらの側にも残りました。

講演の冒頭に、聴衆を見回しながら先生は言われました。「戦争を知らない世代に話をするつもりで『あなたは戦争を知っているか』というテーマをたてたのですが、それに『はい』と答えられる世代の方がこれほど多いのは、予想外の喜びです。」多くの人にとって、戦争を再体験する場が得られたことはもちろん有益だったでしょう。しかし、私としては、やはり学生に、若い世代に聞いてもらいたいお話だった、と強く思いました。いつか全学講義に来ていただくことができたらどうか、と考えながら帰途につきました。